



きくがわ 社協だより

No.149

2017年
7月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

みんなで協力！ レンガアートで花壇が完成



精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」を開催しました。

この企画は、精神障がい者と学生ボランティアが、菊川インター前の美化活動を通して社会貢献活動に取り組むとともに、作業等の交流を通して精神障がいの理解を深め、地域福祉の推進を図ることを目的に、年2回社会福祉法人Mネット東遠の協力を得て開催しています。今回は菊川インター花壇にレンガアートを行い、学生ボランティアは障がい者の方と協力しながら花壇を仕上げました。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

学校で行われている 福祉学習を紹介します

社会福祉協議会は、誰もが安心していきいき暮らせるまちづくりを推進するため、地域福祉教育の取り組みを行っています。

また、各学校においては様々な福祉に関する学習が行われています。社会福祉協議会としても、障がい当事者の皆さんやボランティアグループ、福祉施設職員の皆さんに講師を依頼し、いくつかの学習メニューを用意して学校にご紹介しています。

今年度、すでに実施された福祉学習をご紹介します。

「福祉とは？」

障害者支援施設 清松園 大塚氏のお話と体験をとおして、命の大切さやコミュニケーションの大切さを学びました。

また、職員の赤堀氏からは、施設での仕事の様子や、施設利用者の皆さんとの生活をお話し

ただき、その後、生徒からの福祉の仕事に関する様々な質問にお答えいただきました。



同じ学校の先輩となる赤堀氏から、体験談をお聞きました。



声を出さずにジェスチャーだけを使って、伝える側と伝えられる側の体験をしました。

〈生徒の感想〉

・福祉は人々の生活に密接に関係しているのだなと思いました。

・「障がいは個人の問題ではなく、その人を取り巻く社会の環境の問題」

その障がいが無くなる世の中をつくっていききたいと思いました。

・人と積極的に関わり、良い人間関係をつくっていききたいと思いました。

・全ての人は平等なんだと、ちゃんと教えたいなと思いました。

・「福祉とは、違いを理解しながらたすけ合って幸せになること」の話に、とても納得しました。

「車いす生活から見えるもの」

ボランティアグループ「福祉マップづくり委員会」の皆さんが講師を担ってくださいました。車いすを利用されている大村氏から、生活の中で苦勞すること

や工夫していることなどのお話をお聞きし、その後、車いす操作の説明を受けて演習を行いました。



二人組で介助する側と介助される側の演習を行いました。



車いすの操作について説明を受けました。

〈生徒の感想〉

・障がいというのは自分とはあまり関係のないものだと思っていましたが、誰にでも起こり得る事であり、他人事ではないと感じました。

・現在、障がい者に対する偏見があると思います。助けを求められたら笑顔で助けてあげられるように、車いすの使い方などを日本の国民が知っておくべきだと思います。

・「車いすの人は自分の事ができない。誰かに助けてもらう。」という勝手なイメージを持っていましたが、ほとんどのことは自分でやっていて、自立していることがわかりました。

・介助する時に、どんなところが怖いのか、気をつけてほしいところなどをしっかり話しかうことが大切だと思いました。



池中氏から「家族」などの手話を学びました。



藤原氏から「あいさつ」などの手話を学びました。

「聴覚障がいと私の思い」

身体障害者福祉会ろうあ部のお二人の講師から、聞こえないこと、コミュニケーション方法、生活の様子、ろう教育について、

近所とのつきあい、災害時にいつの講話をいただき、その後、手話を学びました。

〈生徒の感想〉

・講師の二人を見ていて、手話をする時の表情がとても豊かなことに気づきました。手話がわからなくても何を伝えたいのかがわかる気がしました。

・手話が使えなくても、口話や空書き、筆談、身振りがあることがわかりました。

・手話はただその動作をすればよいのではなくて、気持ちを手話という言葉に込めることが大事なんだなと思いました。

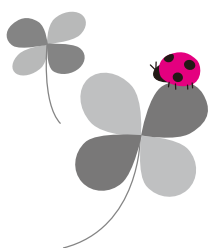
・ろう学校の発音訓練の話では、耳が聞こえないと自分が発する声も聞こえないんだなと知りました。

・今の社会でも不便はあるとおっしゃっていたので、手話を少しでも覚えてどこかの機会で使いたいと思いました。

地域の中には様々な人たちが暮らしていて、思いや生活も様々です。不安に思うことも嬉しいと感じることも、きっとひとり一人違います。

子どもたちが様々な人と出会ってふれ合うことで、ひとり一人を尊重し、たすけ合いながら暮らしている地域が広がっていくと思います。

出前行政講座では、「多文化共生」「男女共同参画」「まちづくり」「手話体験講座」「認知症サポーター養成講座」など、大人向けの講座も多数あります。ぜひご利用ください。





「どきどき」に見学に来てね！

自分ができることを地域に生かす。

Q. 現在の活動について教えてください。

自分は現在、菊川市教育委員会に勤めています。昨年からは埋蔵文化財センター（どきどき）に配属となり、文化財を保護するための業務を行っています。みなさんに地域の文化財についての説明をしたり、工事等で遺跡が壊されてしまう場合は事前に調査をしたりしています。発掘調査といって遺跡がある所に行って土を退かして土器などの「遺物」を回収したり、「遺構」といって昔の人が生活した跡とか住居があった跡を探したりして、ここに何時代にどういった人が住んでいたのかを記録しています。調査した結果は報告書として本にまとめていきます。調査や工事で遺跡が壊されてしまっても、報告書を読めば、この当時この遺跡でこういう物が出たと分かります。そういった活動を通じて、菊川市の歴史をみなさんに伝える仕事をしています。



松下 徳男さん(自治会名:南町)

また、地域の消防団にも所属しています。「自分たちの地域は自分たちで守る」という気持ちで団員一同、一生懸命活動しています。私の所属する分団だけでなく、市としても団員が少なくなっているのですが、菊川市は他の市町の消防団と比べて、20～30代だけで団員が構成されていて、本当に若い力が地域を担っているのはすごいと思いながら活動しています。

Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

仕事のことで、調査を行っていて、土器や住居跡を見つけたときです。菊川市には300箇所以上の遺跡が確認されていますが、菊川市にこんなに遺跡があったことには驚きました。

他にも、黒田代官屋敷やその当時のことを説明するために、菊川市の歴史について勉強すると、菊川でも教科書で習ったような人や出来事に関係した時代があって、人が生活していたことを知り、更に地域に愛着が沸きました。菊川の歴史について、色んな人に知ってもらいたいと思います。

Q. 趣味や楽しみなことは何ですか。

ドラムの演奏です。たまたま出会ったものですが、生涯に渡って続けていけるものだと思っています。あまり人前で演奏する機会がないのですが、静岡市や御前崎市にあるお店で、その場に居る人だけで即興演奏をするジャムセッションに行くことが楽しみです。

もちろん、演奏するだけでなく、演奏を観に行くのも大好きです。良く行くお店は、菊川駅前の喫茶店で、月に1回くらい、プロのミュージシャンが演奏に来ています。狭い空間でのライブは一体感があって、とても面白いです。



ドラム演奏中の様子

Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

ドラムがもっと上手になりたいです。メンバーが揃えばバンドも組みたいです。楽器の演奏はハードルが高いと思っている方が多いと思いますが、実は、とっても気軽に楽しめるものなのです。なので、自分がドラムを演奏できるので、それを生かして、菊川市で音楽をやる時は色々とお手伝いをして、盛り上げて行きたいと思っています。



消防団の様子

菊川市老人クラブ連合会（シニアクラブ菊川）

こんにちは、シニアクラブ菊川です。菊川市老人クラブ連合会を本年から愛称で呼ぶことにいたしました。これだけで新鮮に写るから不思議です。

心のポケットにしまっておいた詩句を人はときおり取りだしては味わい直す。年を重ねただけで人は老いない。理想を失うとき初めて老いると続きます。

神奈川県大和市が先ごろ60歳代を高齢者といわない都市を宣言しました。

豊かな知識と経験は市の宝、はつらつと活躍していただきたいと言っています。リタイア後、あこがれた毎日が日曜日の暮らしを無聊^{ぶりよう}がる人もいます。あとは、人生訓と説教癖というのでは少々寂しい。ですからシニアクラブ菊川があるんです。この機会に入っていていただき一緒に活動しませんか？

それでは、シニアクラブ菊川の活動状況を順を追って説明します。

健康・スポーツ活動では、輪投げ大会、ペタボード大会、健康教室、グラウンドゴルフ大会、健康ウォーキング、レクリエーションダンス、会員親睦旅行等があります。

また、文化活動では、みなさんが楽しみにしている芸能祭、講演会を予定しております。

そして、高齢者に対する交通安全教室の実施、女性部のふれあい広場への参加、友愛慰問は喜ばれている活動です。

終りにお願いがございます。現在の会員数は400人弱であります。年々減少の一途ですので、会員加入促進にご協力をお願いして、シニアクラブ菊川の紹介といたします。

連絡先 シニアクラブ菊川 会長 寺本達良 電話73-4367



輪投げ大会



ペタボード大会



健康ウォーキング



芸能祭

写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ隊」

● 平成28年度 菊川市社会福祉協議会決算報告

平成28年度の決算概要について、次のとおり御報告いたします。

勘定科目

サービス活動増減の部

単位：円

収益	決算額	構成比
会費収益	10,592,800	3.7%
寄附金収益	396,850	0.1%
経常経費補助金収益	56,126,483	19.4%
受託金収益	55,411,438	19.2%
事業収益	510,080	0.2%
介護保険事業収益	150,201,139	52.0%
保育事業収益	0	0.0%
障害福祉サービス等事業収益	3,412,040	1.2%
医療事業収益	9,168,076	3.2%
その他の収益	2,929,305	1.0%
サービス活動収益計	288,748,211	(A)
費用	決算額	構成比
人件費	225,910,055	77.5%
事業費	37,708,206	12.9%
事務費	13,516,272	4.6%
助成金費用	8,272,500	2.8%
負担金費用	362,696	0.1%
減価償却費	6,005,221	2.1%
国庫補助金等特別積立金取崩額	-450,647	-0.2%
その他の費用	67,860	0.0%
サービス活動費用計	291,392,163	(B)
サービス活動増減差額	-2,643,952	(A)－(B)

サービス活動外増減の部

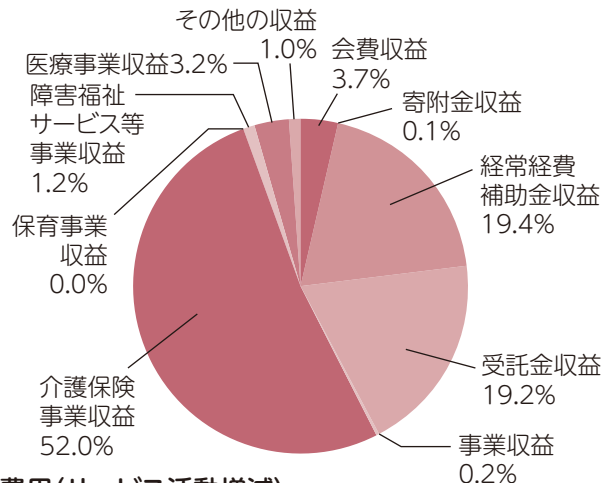
単位：円

収益	決算額
借入金利息補助金収益	0
受取利息配当金収益	25,254
その他サービス活動外収益	3,508,350
サービス活動外収益計	3,533,604
費用	決算額
支払利息	0
その他のサービス活動外費用	0
サービス活動外費用計	0
サービス活動外増減差額	3,533,604
サービス活動外増減差額	889,652

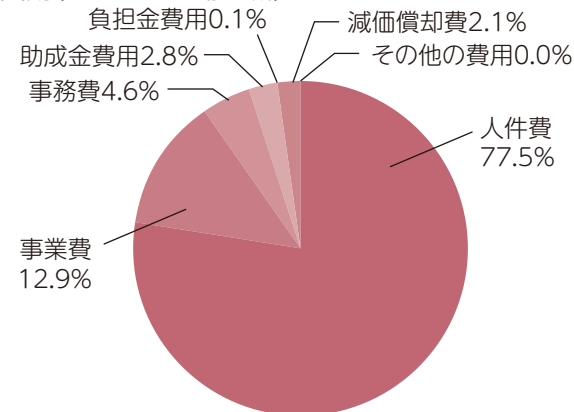
※比率については小数点第2位を四捨五入して掲載しています。

問合せ 総務経理係(☎35-3724)

収益(サービス活動増減)



費用(サービス活動増減)



特別増減の部

単位：円

収益	決算額
施設整備等補助金収益	0
固定資産受贈額	0
その他の特別収益	67,860
特別収益計	67,860
費用	決算額
固定資産売却損・処分損	6
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-136,206,439
国庫補助金等特別積立金積立額	120,960
その他の特別損失	474,728,318
特別費用計	338,642,845
特別増減差額	-338,574,985
当期活動増減差額	-337,685,333
前期繰越活動増減差額	202,281,990
当期末繰越活動増減差額	-135,403,343
基本金取崩額	13,039,462
その他積立金積立額	219,656,926
次期繰越活動増減差額	97,293,045

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

手話サークルひまわり

手話サークルひまわり(太陽の会菊川昼例会)は平成2年に創立、今年で27年目になります。現在、会員は35名で毎月第1、第3、第4金曜日(9:30~11:30)プラザけやきで定例会を開いています。

ろうあ者と健聴者が、手話を学びながら楽しく交流しています。

また、学習班、レク班、会報班がありそれぞれが工夫し、話し合いながら活動しています。本部行事(掛川市・御前崎市・菊川市)の研修会、小運動会、手話カルタ大会にも積極的に参加し、市の出前講座で防災や健康等についても学んでいます。

平成29年4月1日より手話言語条例が施行されました。“聞こえない”こととはどういうことなのかと、改めて理解していただけたらと思います。

そして、より多くの方々に手話を身近なものに感じてほしいと願っています。

問合せ先 ボランティアセンター
☎35-6385 FAX35-3202



ボランティアグループからのお知らせ「あしたばの会」

第4回こころの健康づくり講演会

- 日 時 平成29年8月27日(日) 10:00~12:00 (受付9:30~)
- 場 所 プラザけやき201会議室
- テ ー マ ちゃんと知りたい大人の発達障害
- 講 師 医療法人好生会 小笠病院 院長 鈴木 勝昭氏
- 対 象 一般市民、当事者・当事者家族、関係者など
- 定 員 80名
- 主 催 菊川市精神保健福祉ボランティアあしたばの会
- 共 催 社会福祉法人Mネット東遠
- 申 込 先 社会福祉法人Mネット東遠 地域活動支援センターMネット ☎73-1020
- 申込方法 平成29年8月10日(木)までに電話にて申し込みください。

災害ボランティア支援本部立ち上げ・運営訓練を実施します

今年度も菊川災害ボランティアコーディネーターと協働して災害ボランティア支援本部立ち上げ・運営訓練を実施します。災害ボランティア派遣の流れを体験してみたい方はぜひご参加ください。

日 時 平成29年8月26日(土)
9:20~11:30 (小雨決行)

会 場 プラザけやき

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会
☎35-3724



写真撮影：デジカメボランティア「おっ撮りカメラ隊」

参加者募集 各種事業

「フードドライブ」に御協力ください

実施期間 平成29年8月1日(火)～8月31日(木)
回収場所 菊川市社会福祉協議会窓口
 (プラザけやき内)

希望食品 穀類(お米、麺類、小麦粉等)、保存食品(缶詰、瓶詰め等)、インスタント食品、調味料、食用油、飲料(ジュース、コーヒー、紅茶等)、ふりかけ、お茶漬、のり、ギフトパック(お歳暮、お中元)など、常温で保存ができる物

(食べ物を寄贈する時の注意)

- ①生鮮食品の寄贈は受け付けておりません。
- ②賞味期限が1ヵ月以上ある食べ物を寄贈ください。
- ③原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- ④お米、缶詰、パスタ、そうめん、防災食などが喜ばれます。

問合せ先 菊川市社会福祉協議会
 ☎35-3724



ご家庭に眠っている食品を募集しています!
フードドライブ実施中!



フードバンクふじのくに
 開催日程: 2017年8月1日～8月31日

「フードドライブ」ってなに?

フードドライブとは、家庭に眠っている食品を学校や職場、食品募集受付施設などに集めて、フードバンクに寄付する食品寄付運動のことです。

寄付していただいた食品は行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて食べる物がなくて困っている方々にお渡しいたします。

聴き上手の1歩、踏み出してみませんか?

訪問傾聴ボランティア講座参加者募集。日常生活の中で役立つ傾聴についての講座です。

日程 第1回平成29年9月5日(火) 10:00～11:30

場所 プラザけやきボランティア室

内容 「聴くことってなんだろう?」講師 特別養護老人ホーム松秀園 太田園長

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会(富永・上田) ☎35-3724

申込期限 平成29年8月25日(金) 年齢に関係なく誰でも受講できますので是非お申込み下さい。

※10月3日に第2回目として養成講座も予定しています。両日参加して訪問傾聴ボランティアに登録して下さる方も募集しています。詳しくはお問い合わせください。

ふれあい広場「赤ちゃんはいはいレース」参加者募集

今年度も「ふれあい広場」において、「赤ちゃんはいはいレース」を実施します。思い出の1ページにぜひご参加ください。かわいい赤ちゃんランナーの参加をお待ちしております。

日程 平成29年10月28日(土) 13:30～(集合13:00予定)

対象児 菊川市在住で、開催当日に1才未満の乳児
 ※定員になり次第募集を締め切ります。(先着30名)
 ※当日申し込みはご遠慮させていただきます。

申込受付 8月7日(月) 8:15より受付開始

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 地域福祉係
 ☎35-3724 FAX35-3202



相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8:15～17:00

心配ごと相談

日時 8月1日(火) 9:00～12:00

8月15日(火) 13:00～16:00

会場 プラザけやき

日時 8月8日(火) 13:00～16:00

8月21日(月) 9:00～12:00

会場 中央公民館

結婚相談

日時 8月4日(金) 18:00～21:00

(受付20:00まで)

8月20日(日) 9:00～12:00

(受付11:00まで)

会場 プラザけやき

※初めてのの方は写真と印鑑をご持参ください。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 8月7日(月)・21日(月) 13:00～16:00

会場 プラザけやき

予約電話 090-1476-3233